

# 令和 7 年度 第 8 回春日区地域協議会 次第

日時：令和 7 年 12 月 10 日(水)

午後 6 時 30 分～

会場：上越市市民プラザ 第一会議室

---

## 1 開会

## 2 あいさつ

## 3 議題

### (1) 自主的な審議

自主的審議事項について（地域のコミュニティについて）

## 4 その他

### (1) 次回開催日程について

・日 時：令和 年 月 日（ ）午後 時 分～

・会 場：\_\_\_\_\_

・内 容：\_\_\_\_\_

### (2) その他

## 5 閉会

### ～ 地域協議会における会議の心得 5か条 ～

その 1 自分以外の人の考えも聞きましょう（自分ばかり話さない）

その 2 発言は簡潔にしましょう（だらだら話さない）

その 3 建設的な話し合いをしましょう（頭から否定しない）

その 4 話し合いやすい雰囲気を大切にしましょう（相手を責めない）

その 5 個人の意見は平等に扱いましょう（一人の強い意見に偏らない）

令和7年度第8回春日区地域協議会
令和7年12月10日
3議題（1）自主的な審議
資料No.1

## 春日区地域協議会自主的な審議事項テーマ正式名称

サブテーマ名称と経過		① 子どもたちが愛着を持てる春日	② 誰もが誰かとつながっている春日
		市内で地域自治区の人口を比較した際、春日区では、現在は子どもの人数は多いが、将来的に少子化が進行していくことを見据え、子どもたちが春日地域に愛着を持ち、長くかかわることができるよう、取り組む。	現在、人口の多い春日地区でも、将来の高齢化や組織の役員の確保、空き家管理の心配など様々な懸念がある中、それらを解消するための助け合いのコミュニティを維持すべく、人と人がいつまでもつながっていられるよう、取り組む。
具体的解決策のポイント（条件）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・“変わらない何か”がある「地元」と呼べる場所であること</li> <li>・忘れられない思い出があること</li> <li>・大人がかっこいい見本になること</li> <li>・達成感があること</li> <li>・子どもの頃から取り組み、身につく事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢や健康状態等に関わらず、誰もができること</li> <li>・お金がかからず、誰もが集まりやすい環境であること</li> </ul>
A	案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが愛着を持てる春日</li> <li>・ふるさと教育</li> <li>・地域愛の形成</li> <li>・愛着を持てる春日</li> <li>・地域が育てる春日っ子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが誰かとつながっている春日</li> <li>・春日地区のつながり</li> <li>・春日地区の助け合い</li> <li>・チーム春日</li> <li>・つながる春日</li> </ul>
飯田、折橋、田中、吉田(実)、渡部	考え方など	①、②共通：春日愛の継承、住みよい春日、育てる春日	
B	案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが愛着を持てる春日</li> <li>・ふるさと春日</li> <li>・春日の歴史を学ぶ</li> <li>・謙信公のまち春日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが誰かとつながっている春日</li> <li>・春日の歴史を学ぶ</li> <li>・みんなが友達、春日の輪</li> </ul>
池亀、崎田、田邊、松澤	考え方など	・謙信公を推す	・「〇〇の輪」としたい
C	案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが愛着を持てる春日～春日流儀～</li> <li>・子どもたちが愛着を持てる春日～春日スタイル～</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが誰かとつながっている春日～春日流儀～</li> <li>・誰もが誰かとつながっている春日～春日スタイル～</li> </ul>
市川、瀧本、原、山谷	考え方など	地域全体が馴染みある（春日小区・高志小区とも）、押し付けの無いものとすべき。	

# 自主的な審議のフレームワーク

令和7年度第8回春日区地域協議会
令和7年12月10日
3議題 (1) 自主的な審議
資料No.2

## テーマ①

### 〇 〇 〇 〇 〇 について

#### ～子どもたちが愛着を持てる春日～

市内で地域自治区の人口を比較した際、春日区では、現在は子どもの人数は多いが、将来的に少子化が進行していくことを見据え、子どもたちが春日地域に愛着を持ち、長くかかわることができるよう、取り組む。

プロセス	内容	協議結果
課題の設定	起きているよくない現象・将来発生する可能性がある事象などを定義する。	・人口減少と高齢化の進行
原因(問題)分析	何が原因で課題が発生しているのか明確にする。現状と理想のギャップを分析する。	・少子化、子どもの市外・県外流出
解決策の検討	考えられる解決策をできる限り挙げていき、優先順位をつける。	<p>○春日地域に関する学びや謙信公の顕彰を、地域の大人から子どもへ伝承する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ポイント（条件）</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“変わらない何か”がある「地元」と呼べる場所であること</li> <li>・忘れられない思い出があること</li> <li>・大人がかっこいい見本になること</li> <li>・達成感があること</li> <li>・子どもの頃から取り組み、身につく事</li> <li>・</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">具体的解決策</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春日村歌</li> <li>・謙信公検定</li> <li>・読み聞かせ</li> <li>・紙芝居</li> <li>・</li> </ul>
解決策の実行	優先順位が高いものから実行していく。効果検証をして、効果が出ていれば継続する。期待する効果が得られない場合は、他の解決策を取り入れる。	



## 解決策のための協議事項

時期（いつ）	
場所（どこで）	
実施者（誰が）	
対象（誰に）	
物（何を）	
実施方法（どうする）	
数量（どれくらい）	
経費（いくら）	
その他	